## 大糸線活性化協議会の取組方針について

## 1 基本・実施方針

- ◆設立目的 JR大糸線(糸魚川駅〜信濃大町駅)の活性化を図るため、関係自治体と鉄道事業者が相互に連携することによって、利用促進に関する取組活動を推進し、沿線地域の活性化に寄与することを目的とする。
- ◆基本方針 ◎ J R西日本、J R東日本との協力・連携
  - ◎新潟県、長野県との協力・連携
  - ◎糸魚川市、小谷村、白馬村、大町市との協力・連携 **地域に密着した連携体制**
- ◆実施方針 (1)「生活利用」の促進 (2)「観光利用」の強化 (3)「地域連携・協働」の仕組みづくり (4)「安全・安心・快適」な利用環境づくり

## 2 事業概要

- (1) 生活利用
- ①潜在利用者への働き掛け、新規利用者の開拓 ②鉄道とバス(自家用車)との乗継利用の促進
- (2) 観光利用
- ①沿線の観光魅力や集客力の創出と向上 ②沿線の観光魅力の情報発信 ③Hakuba Valleyと連携した観光振興
- ④訪日外国人の誘客促進や鉄道ファンの取り込み ⑤車両自体の観光魅力や輸送サービスの創出と向上
- (3) 地域連携・協働
- ①治線住民のイベント利用促進 ②小中学校等の行事利用促進 ③利用促進団体の育成 ④治線地域の教育資源を活用した体験学習

広域的な連携体制

- 大糸線車両の活用、広告・宣伝力の活用

(4) 安全・安心・快適 ①高齢者等が利用しやすい環境づくり ②沿線目的地の最寄り駅や乗換方法の分かりやすい案内

## 3 事業展開のイメージ

2018 年度 上 げ

2019

年度

以降

次年度以降の足掛かりとしてPR活動・情報発信を強化

〈大糸線勉強会の実施〉

「土づくり(関心)」・「種まき(きっかけ)」に重点

効果的かつ段階的発展を目指し、短·中·長期の視点で調査・計画・検討

「水やり(拡散)」・「収穫(獲得)」に重点

鉄道事業者との協働・協力、 関係自治体との広域連携を生かし、 直接「乗り」につながる事業を展開 生活 観光 地域 連携 ... etc

- 構成団体-《自治体》 新潟県、長野県 糸魚川市、小谷村、白馬村、大町市

《鉄道事業者》 携 J R西日本

JR東日本(オブザーバー)

2020 年度 ・トライアル・実施 2021 年 2021 年 2021 年 2021 年 2025 年 202